# 株式会社大成閣

所在地：大阪市中央区東心斎橋1-18-12
TEL：06-6271-5238
HP：http://taiseikaku.jp/
SNS：https://www.instagram.com/taiseikaku.chinese.restaurant/
取材日：2024／04／16

ホームページ　Instagram

# 社長インタビュー

株式会社大成閣　取締役　池本由貴子（いけもとゆきこ）

Profile

| | | | |
|---|---|---|---|
| 出身地 | ：大阪府豊中市 | 学生時代の部活動 | ：ラグビー部マネージャー |
| 出身校 | ：甲南女子大学 | 好きなスポーツ | ：阪神タイガース |
| 生年月日 | ：9.11 | 好きな本のジャンル | ：推理小説 |
| 趣味 | ：宝塚歌劇鑑賞 | 好きな言葉 | ：笑客万来 |
| 血液型 | ：AB型 | 得意な料理 | ：ハンバーグ |

Q：池本さん、今日はよろしくお願いします。まず最初に株式会社大成閣の事業内容から聞かせて頂けますでしょうか？



昭和28年に祖父が創業し昭和32年に誕生した大成閣は、1名様から最大600名様までの団体様など幅広いお客さまに本場の北京料理をお楽しみ頂いております。昭和55年には3階建てだった大成閣を6階建てに改装しブライダル事業に参入。その後、父が事業を承継しました。現在は各種ご宴会やパーティーなどのご開催をメインに承っております。

Q：ありがとうございます。池本さんは、どのような経緯で大成閣でご活躍されるようになられたのでしょうか？

学生時代に父からゆくゆくは事業を継いでほしい、と言われたのが大成閣に入るキッカケでした。当時は大学4年生で就職活動中でしたが、それを辞め簿記の専門学校に通い始めました。卒業後、大成閣の顧問税理士事務所で働くもバブル直後で業績が落ち込み、すぐさま大成閣へ入社。その後、業績を立て直すべく大成閣はブライダル事業を立ち上げます。とはいうもののやった事のない新規事業です。その事業を任された私は一からブライダルの専門学校に通い資格を取得しました。そして従業員からの支えもあり一時は大成閣の基幹事業にまで成長してくれました。現在は後継者として大成閣全体の運営を任されております。

Q：バブル崩壊後、大変な時期を乗り越えられた池本さんですが、何を一番大切にされてこられましたか？

人との繋がりを大切にしてきました。最初の頃は出会った人たちが望んでいる事を叶えていく、という事を徹底し続けました。それを続けていくうちに恩じゃないんですけど「今度、宴会する時は池本さんのところで」と返ってくるようになったんですよね。ギブ＆テイクではなくギブ＆ギブですよね。与えると与えられるんですよ。そんな人付き合いを大切にしてきたからこそ、今の私や大成閣があると思っています。



Q：人って何かされたら、何かを返したくなりますよね！ありがとうございます。池本さんにとって大成閣はどんな存在でしょうか？

お客さまや従業員、そのご家族もみんな家族のような存在です。大成閣のスタッフは私が小さい頃からとても優しかったんですよ。お客様からも同じように「大成閣のスタッフは優しいね」と評価されています。ですので、お客さま一人ひとりが大切なゲストなんですよ。自分の大切な人であればどう接するのか？そう考えて行動することが大切だと思っています。

# 社長インタビュー

Q：実のところ、多いときには600名さま近くのお客さまを6フロアにも渡って隅々まで気を配っていくのはかなり大変なんじゃないでしょうか？

もう本当におっしゃる通りです(笑)。お客さまの多さもそうなのですが、スタッフも毎日50名前後が働いてくれていて、それを一つのチームとして回していくのがとても大変なんです。通常の飲食店のように一人のスタッフがサービス業務も！キッチン業務も！とマルチな対応ができません。例えば調理場であれば切る人はずっと切り続け、スープを作る人はずっとスープを作り続ける。そんな具合で一人が同じ業務をし続けなければいけないんですね。つまり一人でも欠けてしまうと回らなくなるリスクが生じます。ずっと同じことをやり続けるのは変化が少ない分、やっぱり大変なんですよね。あの人はあーだった、この人はこーだった、という不平不満がどうしても出てきてしまうんです。



Q：そうなんですね。そういった問題はどのように解決されているのでしょうか？

徹底していることは３つあります。まずは定期的なコミュニケーションです。ただ会話するだけのコミュニケーションではなくて今の気持ちを聞き出すためのコミュニケーションですね。そうしないと誰も話を聞いてくれなくなり環境は悪化していきますから。次に平等に接することです。これは従業員＝家族なので当たり前のことですね。そして最後にコミュニケーションによって見つかった改善点はすぐさま修正することです。それをしなければ何のためのコミュニケーションか？分からなくなりますからね。

Q：となりますと池本さんはスタッフさん同士の潤滑油のような存在なんですね！ありがとうございます。そのような環境であれば、皆さま社歴はかなり長いんじゃないでしょうか？



そうですね。大成閣のスタッフは終身雇用です！といっても過言ではないくらい皆さん長きにわたって頑張ってくれています。定年を迎えた従業員も、その翌日からパート社員として働いてくれたり、一度辞めた従業員もまた戻ってくることが多いんですよね。これは経営陣だけでなく、従業員も大成閣を家族だと感じている証拠だと思います。

Q：人間であれば、大成閣だけではなく別の道に浮気したくなることもあると思うんですね。それでも何故、長きに渡り働かれると思われますか？

自分の存在価値が認められているからだと思っています。先ほどもお話した通り、大成閣ではそれぞれの役割を果たす事がとても重要になってきます。そしてそれぞれの役割を果たした結果、たくさんのお客さまに幸せになって頂けるわけです。そのサイクルがやがて自己を肯定できるようになると思うんですね。だからこそ居心地がよくて辞めずに定年後も戻ってきてくれるんだと思いますね。

Q：インタビューも終盤に差し掛かりますが、ここで池本さんの今後のビジョンをお聞かせください。

2つございます。一つ目は週休完全2日制にする事です。現在は週に1日が完全休日で、もう1日は週の中で午前と午後に休みを取ることで週休2日制としています。まずはそこの改善ですね。そして二つ目は中華バルを展開していく事です。ここに関してはコロナ禍に商業施設から出店のご依頼はあったんです。ですが取り組んだ事のない新業態である事と、見通しが付かない状況だったこともあり断念致しました。ですので今後は中華バルに挑戦します。そのために人材育成に積極的になっていきたいですね。

Q：そのためには是非とも読者の皆様のお力を借りたいところではありますよね。最後になりますが、その読者の皆様へメッセージをお願いします。

人は宝です。一人ひとりのご縁を大切にして、そのご縁を頂いたことをチャンスと捉えて頑張って欲しいと思います。そして大成閣にもご縁を頂けるのであれば、これほど嬉しいことはありません。大成閣は何かあっても助けてくれる人たちばかりです。宜しくお願い致します。

# スタッフインタビュー

株式会社大成閣　トータルフロアマネージャー　芝賢二（しばけんじ）



Q：続いてトータルフロアマネージャーの芝さん、よろしくお願いします。まず最初に芝さんのお仕事内容からお聞かせください。

僕はフロントでご案内したお客さまをしっかりと各フロア・各お部屋へご案内できているか？などをマネジメントする業務を行っております。その中で僕自身もお客さまにお料理をお運びするなどしてサービス面の業務も行っております。

Q：ありがとうございます。マネジメントをされるお立場ということはもう長きに渡って大成閣でご勤務されているのでしょうか？

いえ、僕は2023年2月に大成閣へ入社しました。

Q：まだ浅いんですね。芝さんはどういった経緯で入社されたのでしょうか？

僕は、大成閣に配膳スタッフを派遣していた会社に勤めていたことが入社するキッカケとなりました。そして当時は大成閣へ新人スタッフを派遣する事が多かったんですよ。なぜならより利益を頂けるお客さまにベテランの手が取られていたからです。しかし大成閣は1フロアで仕事をするのではなく6フロアで仕事をする為、新人だけですと混乱してしまうんです。その混乱を防ぐために責任者だった僕も大成閣に派遣されていたんですよね。そして派遣会社を辞めて別の事業をしていたのですが、2022年11月に池本からオファーを受け2023年2月に入社致しました。

Q：一度、ご経験されている芝さんであれば、池本さんも安心ですよね。派遣会社の時と今とでは何か変わった点を感じますか？

すべき事は把握はしていたので業務的なところに変わった点は感じませんでしたが、仕事に対する臨み方には変化がありました。それは大成閣のウィークポイントを積極的に改善しよう！と思った事でした。大成閣では、一人ひとりが自らの仕事に集中しますので、周りの業務に干渉することは少ない傾向にあります。そのため、周囲の状況が見えにくくなることが課題でした。ですので派遣会社の時にたくさんの現場での経験を活かしてそこを改善しようと思いましたね。



Q：ありがとうございます。日々のマネジメント業務を全うされる中で大成閣へはどんな思いをお持ちでしょうか？

シンプルに70年という歴史が凄いな、と思います。そしてコロナ禍、ただでさえ大変なのにも関わらずキーマンが急逝された、といった話も聞きました。そういった話と近しい事がコロナ以外にも多々あったかと思うんです。そういったたくさんの苦難を乗り越えてきた70年が凄いなと思いますね。僕も今後の大成閣を、ゆくゆくは総支配人という立場になって支えていきたいと思っています。

Q：ゆくゆくは総支配人を目指される、ということですが、その為に芝さんが常日頃から大切にされている事はどんな事なのでしょうか？

お客さまからのリピートです。そのリピートがなければ経営は成り立ちません。当然のことですよね。ですのでお客さまが大成閣の玄関をくぐられた時よりも、お食事をされ、玄関を出られる時に「また大成閣に来たいな」と思って頂けるようにする事が一番、大切だと思っています。いい意味でお客さまを裏切り続け、今後の大成閣を総支配人の後継者として盛り上げていきたいと思いますね。

Q：ありがとうございます。シンプルなことですがとても大切な考え方ですよね。最後に読者の皆様へメッセージをお願い致します。

この仕事はお客さまを幸せにできる上に、そのお客さまから「ありがとう」と感謝される。それが醍醐味だと思っています。その「ありがとう」を頂けるように頑張って頂きたいなと思いますね。